

東日本大震災義援金集計報告

甚大な被害をもたらした東日本大震災から3年が経ちました。発生当初より、市民のみならずには長い間あたたかいご支援をいただきありがとうございます。

ご協力いただいた義援金の総額は、1月7日現在、792万9千651円になりました。

義援金は、被災県の義援金配分委員会で配分基準が定められ、市町村を通じ、被災者に届けられます。

なお、詳しい配分状況については、厚生労働省のホームページ (<http://www.mhlw.go.jp>) でご確認ください。

身体障がい者福祉会より福祉車両の寄贈

野田市身体障がい者福祉会（幡野喜志子会長）から社会福祉事業推進のために福祉車両（トヨタヴォクシー・車いす2台仕様）が野田市社会福祉協議会に寄贈され、1月24日に受領式典が行われました。

寄贈された車両は、車いすを2台乗せた場合は、5人で乗車することができ、障がい者、高齢者及びそのご家族、福祉団体の方が利用することができ「福祉カー貸付事業」（ゆうあい号）として、野田市の委託を受け実施します。

ご厚意に対し、厚く感謝申し上げますとともに、社会福祉協議会の円滑な事業運営を図るため、有効に活用させていただきます。



乗りやすいミニバンタイプの車輛です

あたたかいご支援ありがとうございました

◆ 義援金をいただいた方々（順不同）

桑原時夫・東日本へ笑顔を送る会 様	5,000円
デリーマハル・東日本へ笑顔を送る会 様	6,657円
国際交流協会・東日本へ笑顔を送る会 様	8,625円
笑紫会・東日本へ笑顔を送る会 様	4,809円
東日本へ笑顔を送る会 様	3,231円
野田ギターアンサンブル・東日本へ笑顔を送る会 様	14,705円
やすらぎの郷窓口募金	2,276円
社会福祉協議会窓口募金	1,620円
ひばりハーモニカクラブ・東日本へ笑顔を送る会 様	12,568円
匿名	51,269円

（平成25年10月18日～26年1月7日受付分）



車いすのまま、外泊できます

◆福祉車両の貸出

「車いすのまま」乗り降りできる車両を貸出しています。

〔対象〕 高齢者・障がい者（児）及びその家族

〔利用料〕 無料（燃料は自己負担）

〔貸出車両〕

① 「たんぼぼ号」（軽自動車）

② 「ゆうあい号」（ワンボックス車）

※ 定員 5名（車いす2台）

※ 運転手は、利用される方で確保してください。



通院、行楽等に便利な「たんぼぼ号」

お知らせ

野田市社会福祉協議会では、障がい者の社会参加促進と市民の利便性の確保を目的に、野田市斎場内で斎場売店「セレ・ショップやすらぎ」を運営しています。

現在は、8名の障がいのある方が一般就労に向けて、日々チャレンジをしており、お客様のご用命ひとつひとつが、障がいのある方ひとりひとりの貴重な社会参加への支援となっておりますが、それでもご利用の件数は限られており、支援に必要な作業量を確保できていないのが現状です。

一人でも多くの市民の皆様にご利用いただくことが福祉の輪を広げることにつながります。

斎場売店「セレ・ショップやすらぎ」のご案内 ～控室へのお飲み物のご用命を承ります～



軽食、お菓子、仏具も取り扱っています

どうぞご理解の上、「セレ・ショップやすらぎ」をご利用いただけますようお願いいたします。

〔問合せ〕

斎場売店直通

☎ 7122-4017

社会福祉協議会

☎ 7124-3939